

南薩教育事務所だより

令和8年3月発行

雑用というものはない

総務課長 上戸 雄次

昨年のノーベル賞は、日本からノーベル生理学・医学賞に坂口志文大阪大学特任教授、ノーベル化学賞に北川進京都大学特別教授の2人の受賞が決まりました。北川進特別教授は、金属有機構造体の研究を発表した当初、批判を浴びることもあったそうですが、一見役に立たないものが実は役に立つ、無用の用を座右の銘とし、信念をもって研究を続けてきた功績が評価されたのだと思います。

私は、ノーベル賞受賞のニュースを見ながら、過去に勤務した職場の上司を思い出しました。その上司は、「世の中におよそ雑用というものはない」ということをモットーとしていた。例えば、事務室にクリップやゴミが落ちていたら拾う。シュレッダーのくずが一杯になったら袋を取り替える。月が変わればカレンダーをめくるなど、誰かがしないとくいけないことができている組織は素晴らしいと言われていました。

気付いた人が自ら行動することが大事なのだと思いますが、自分自身、同じような状況に遭遇した場合、残念ながら全て対応しているとは言えません。しかし、行動することで経験値を得ることになるので、雑用とはいえ、きっと行動したことで、もしかしたら後々経験として役立つことや、何かのヒントになることがあるかもしれないのではないかと思います。今後、面倒なことを雑用と思わず、気付いたら行動できるようになりたいと思います。

令和7年度鹿児島学力・学習状況調査結果

令和8年1月13日～21日の期間で実施された鹿児島学力・学習状況調査の地区結果は以下のとおりです。中学校においては、国語（中2）、理科（中1）、英語（中1）が県平均を上回りましたが、小学5年生では、全ての教科で県平均を下回りました。全体的には、昨年度の調査結果より県平均との差が縮まっています。また、児童生徒質問紙の「学校の授業はよくわかりますか」という項目では、「よくわかる」と回答した割合が、全学年のほとんどの教科で昨年度の調査結果より上昇しています。調査結果の詳細な分析を行い、学習者主体の授業実現に向けた授業改善をさらに推進し、「分かる」、「できる」授業の実施を目指していきたいと思っております。

	国語	社会	算数・数学	理科	英語
小学5年	49.9 (-1.8)	54.7 (-0.7)	41.8 (-1.2)	58.0 (-0.7)	
中学1年	58.5 (-0.9)	47.8 (-1.9)	46.8 (-0.7)	51.3 (1.2)	60.2 (-0.3)
中学2年	52.4 (0.4)	54.6 (-0.7)	36.0 (-0.9)	47.4 (-0.8)	42.3 (-2.5)

※ 数値は令和8年2月27日時点の結果 () の数値は、地区一県の差

鹿児島県いじめ問題子供サミット

令和7年12月26日（金）に県庁において「鹿児島県いじめ問題子供サミット」が開催されました。子供たち自身が語り合うことで、いじめを許さないという強い気持ちを持ち、自分たちの手でいじめを0（ゼロ）にしようという意識を高めることを目的としたサミットです。南薩地区代表として枕崎市立立神中学校の生徒が、「立神中学校いじめ0（ゼロ）宣言」の作成、全校生徒参加型のレクリエーションの実施、「ピンクシャツデープロジェクト」の取組について発表しました。「魅力ある学校づくり」を目指した笑顔あふれる学校にしていこうという思いが伝わってきました。



「体力アップ！チャレンジかごしま」県及び地区表彰

令和7年度の南薩地区の学校申告率は昨年度に引き続き、小・中学校ともに100%でした。学級申告率も年々向上しており、本年度は小学校98.1%（254/259学級）、中学校100%（90/90学級）と多くの学級で取り組みました。また、多種目に挑戦する学級が増えていることから、子供たちの運動能力の向上が期待できます。

	小学校	中学校
県学校賞	南九州市立高田小学校	南さつま市立大笠中学校
地区最優秀賞	指宿市立川尻小学校	枕崎市立立神中学校
地区優秀賞	枕崎市立別府小学校 南九州市立大丸小学校	指宿市立西指宿中学校 南九州市立颯娃中学校
地区優良賞 ※R7より新設	南さつま市立大浦小学校 南九州市立知覧小学校	枕崎市立別府中学校 南さつま市立加世田中学校

たくさんの応募、ありがとうございました

本年度も、地区内の先生方から貴重な実践に基づいた274点の教育論文を応募いただきました。応募論文の中から10点を南薩地区教育論文集「研究と実践」第16号として各学校に電子データで配布しますので、今後の教育活動の参考にしてください。

【教育論文集「研究と実践」掲載者】

指宿市立 丹波小学校 大迫 駿兵 教 諭 (学級経営)	南九州市立 霜出小学校 堀内 紗菜 教 諭 (道徳科)
南さつま市立 益山小学校 南 雅也 教 諭 (学級経営)	南九州市立 青戸小学校 吉村 勝 教 諭 (特別支援教育)
南さつま市立 金峰学園 鮫島 貴子 教 諭 (国語科)	指宿市立 山川小学校 末吉 幸 養護教諭 (学校保健)
枕崎市立 別府小学校 西丸 紘市 教 諭 (算数科)	指宿市立 池田小学校 大江 実躍 事務職員 (学校事務)
枕崎市立 別府小学校 小野池 篤志 教 諭 (体育科)	南九州市立 宮脇小学校 小原 武 教 諭 (その他)

【学校賞】

枕崎市立 桜山小学校	枕崎市立 別府小学校	枕崎市立 立神中学校	指宿市立 丹波小学校
指宿市立 開聞小学校	南さつま市立 益山小学校	南さつま市立 金峰学園	南九州市立 宮脇小学校
南九州市立 青戸小学校	南九州市立 松山小学校		

【奨励賞】

枕崎市立 桜山中学校	枕崎市立 別府中学校	指宿市立 指宿小学校	指宿市立 柳田小学校
指宿市立 山川小学校	指宿市立 北指宿中学校	南さつま市立 川畑小学校	南さつま市立 加世田中学校
南さつま市立 万世中学校	南さつま市立 坊津学園	南九州市立 霜出小学校	南九州市立 颯娃中学校

南薩地区PTA会員等教育講演会 兼人権ブロック別指導者研修会

10月29日(水) サン・フレッシュ枕崎(枕崎市)にて、PTA会員等教育講演会を開催しました。講師に日本ペップトーク普及協会認定講師の川添 まり子 氏を迎え、「豊かな人間関係を育む『言葉の力』』という演題でお話いただきました。



演習も取り入れながら、日々の生活の中で子供たちにどのような言葉を掛けているのか、日頃の自分自身を振り返り、言葉のもつ力について考えさせられる内容でした。「講演の内容は家族だけでなく、職場や地域での関係づくりにも生かそうだ」等の感想が寄せられました。

また、前年度のアンケートに児童生徒が帰宅をする時間帯を考慮し、午前中の開催を望む声が多く寄せられたため、午前中の開催としました。当日は200人を超える保護者と教職員の方の参加がありました。保護者と教職員がともに学ぶ機会として、充実した時間が過ごせたと思います。子供に寄り添い、前向きになれる子供への言葉掛けを家庭教育や学校教育に生かしていただければ幸いです。

令和7年度県・地区指定研究公開及び研修会

【地区研究協力校研究公開「算数科」：南さつま市立川畑小学校】

南さつま市立川畑小学校では、算数科における主体的に学びを進める児童の育成を目指し、学習のUD化を位置付けた学びの工夫を主に研究しています。見通しをもたせる工夫、対話を位置付けた協働的な学びや共通した視点での振り返り等の実践を積み重ね、



令和7年7月3日(木)に行われた研究公開では、実践発表や4年生及び5年生算数の公開授業をとおして実践の成果を紹介しました。授業研究では、公開授業での児童の姿を基に主体的な児童の育成について意見交換が行われました。

【地区道徳教育研修会：枕崎市立立神小学校、桜山中学校】

令和7年度は枕崎市において、各学校の道徳教育推進教師を中心に約90人が参加して、南薩地区道徳教育研修会を開催しました。実践ポイントは次のとおりです。

□ 立神小学校(第3学年)

- (1) 自分の考えを伝え合う活動をするために、役割演技を取り入れた。
- (2) アンケートを活用して自分事として課題を捉えさせたり、学習の振り返りをさせたりした。



□ 立神小学校(第5学年)

- (1) 自ら問いを立て、自分の考えを伝え合うことができる児童を育むために、4つの視点から問いを考え、意見交換を通して中心発問を児童に立てさせた。



- (2) 課題をより自分事として捉えるために、問いを立てたり比較したりしながら解決したい問いを選択させた。

□ 桜山中学校（第3学年）

- (1) 自分の変容を自覚できる振り返りの充実のため、心情メーターの活用を図った。
(2) 「考え、議論する道徳」を目指して、他者と考えを比較したり、自分の考えを広げたりする活動を取り入れた。



ICTの効果的な活用、役割演技、心情メーターなど多様な指導法について、これからの道徳教育の充実につながる学びの多い研修会になりました。

【県教育委員会「魅力ある学校づくりプロジェクト」研究協力校研究公開：南さつま市立加世田中学校】

11月7日に南さつま市立加世田中学校において県教育委員会指定「魅力ある学校づくりプロジェクト」の研究公開が開催されました。学年を中心とした授業改善と授業に内在化した生徒指導の実践を通して、研究主題「自立した学習者の育成～協同学習等を軸とした個別最適な学びの推進～」に迫る公開となりました。公開授業では学習に主体的に取り組む生き生きとした生徒の姿が多く見られました。



【地区・枕崎市教育委員会研究協力校研究公開「小中連携教育」：枕崎市立別府小学校・別府中学校】

枕崎市立別府小学校、別府中学校では、主体的に学びに向かう学習者の育成を目指し、児童生徒に委ねる場面を設置した授業、効果的なICTの活用等の共通実践や、小学校と中学校の接続を意識した乗り入れ授業等を積極的に進めています。



令和7年11月11日（火）に行われた研究公開では、小学校6年生の外国語、中学校1年生の数学の授業が公開されました。実践発表、授業参観や授業研究をとおして、小中連携の在り方等について学びを深める貴重な機会となりました。

【県教育委員会指定「学習者主体の授業」研究協力校研究公開：南さつま市立万世中学校】

南さつま市立万世中学校では、主体的に学習に取り組み自ら課題を解決しようとする生徒の育成を目指し、パフォーマンス課題や振り返りの研究を行っています。主体の授業の実現に向けて、パフォーマンス課題と振り返りを軸とした単元のデザインを行い、単元の学習内容を基にしたパフォーマンス課題に生徒が取り組む実践を積み重ねてきました。



令和7年12月10日（水）に行われた研究公開では、実践発表、3年生理科の公開授業や授業研究を通して、学習者主体の授業実現に向けた取組を参加者と共有することで学びを深めることができました。

